



飛翔

富士見市立
勝瀬中学校だより
令和7年度
3月号



三年生修学旅行

2・15 (日) - 17 (火)

二泊三日で奈良・京都方面へ。お香漂う中で見上げた大仏や、微妙なおいの中を近づいてくる鹿たち、お出汁のきいた夕食など、嗅覚や味覚とともに刻まれた記憶は、やがてきつと生涯の宝物となるでしょう。

インフルエンザが流行し、実施一週間前に学年閉鎖となりましたが、ご家庭でも不要不急の外出を控えていただくなど、おかげさまで現地で病院へ行くことはありませんでした。様々なご準備から、皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

全学年で中央展金賞



飛翔の軌跡

2.3 新入生入学説明会

「未来を拓く力を身に付けた思いやりあふれる人の育成」
《知》 進取の気性をもち、仲間と共に創造を楽しむ生徒
《徳》 多様性を尊重し、互いの成長を喜ぶ生徒
《体》 心身を鍛え、協働と貢献を重んじる生徒
昭和55年開校(46年目)生徒数675名 20学級

ふじみ野小、勝瀬小、私からは、この時期鶴瀬小の一部の6年生と保護者を招き、各担当から4月に向けた準備や心構えを話しました。生徒会の本部役員はさすがで、話に疲れてきた児童の気持ちがよく分かっており、ユーモアを交えつつ服装や学校生活のポイントを紹介してくれました。

わかないよう「仲直り」を済ませる③6送会や卒業式で「さすが6年生」という有終の美を飾ってきて、入学式での元気な再会を約束しました。

- ◆書初め展中央展覧会 (県展)
 - 特選 3年 ○○○○、2年 ○○○○、1年 ○○○○
 - 優良 3年 ○○○○
- ◆児童生徒美術展 県特選 2年 ○○○○、○○○○
入間地区特選 1年 ○○○○、○○○○、2年 ○○○○
3年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○
- ◆女子バレーボール部
 - ・令和7年度NEW GENERATION CUP 第1位
 - ・富士見市民スポーツ大会中学女子の部 第3位



年度替わりは大人も忙しい時期ですが、**県教育委員会作成の動画**をご覧ください、①スマホを置いて目を見て話せる時間を大切に ②誰かと比べたり頭から否定したりせず、打ち明けたことを受け止めて ③心配なときはご相談いただく等、**進学や進級で揺れ動く子どもの心**に寄り添い、若者の自殺予防にご支援とご協力をお願いいたします。

中高生と
心の健康
東京大学教授 (医学博士、精神科専門医)
佐々木 司

イラストは、ホームページでの配信が認められたものを使用しています。

- ① 高校入学後などに、よろしければ本校制服のPTAによるリサイクルにご協力をお願いいたします。
- ② 在学中に転居 (住民票を移動) する際は、市内であっても卒業間近であっても、学校にご連絡をお願いいたします。

東大寺



修学旅行



平等院



なやみとは……



まんなか!



唯一無二

初日にお世話になったバスガイドさんは、中学生の頃に歴史好きになってこの道に進んだだけあって、硬軟織り交ぜた楽しい話がたくさん聞けました。奈良への道すがら伏見城跡が

見えると、家康家臣の鳥居元忠について、大河ドラマの何話目でその最期が描かれているかなど熱く語ってくれました。また、如来・菩薩 明王・天部を教職員に例えて分かりやす

く説明してくれ、阿修羅と帝釈天が繰り広げた「修羅場」の由来など、一度聴いたら忘れな

い語り口で、教え方まで学ばせてもらった気がしました。三日目の三十三間堂では、長い廊下を歩いてくる生徒を阿修羅像の前で次々と捕まえては、聞いたばかりの「修羅場」について、得意げに話している人がいたの言うまでもありません。



三日目のガイドさんは、川越の「時の鐘」を見に来たことがあるとのこと。「富士見市はどんなところ?」と問われ、「何もなし」と生徒が答えているのを耳にし、旅先のことだけでなく、地元史跡や銘菓なども調べておくとよいと思いました。班別行動をしている間、京都の街を自転車で大変でしたが、専用レーンがあつて安心して乗れました。左は、小説に登場する「長五郎餅」のお店に立寄った時のもの。主人公の好物を求め、北野天満宮近くのお店を「巡礼」する方が増えたそうです。宿に戻ってきた生徒たちが、一日付き添ってくれたタクシীর運転手さんと別れを惜しむ姿を見た時、仲間と計画を立てて支度をし、協力しながら旅先での出合いを楽しむ人の育成という、修学旅行の目標は十分達成できたかと確信しました。

飛翔 勝瀬

2.14(土) 科学部 3たびあらわる!

～7月、11月に続きぶんちゃんひろばで10名が大活躍～



はくさいは
うくかな?



キミの一步が誰かを笑顔に

ホールに入った瞬間、中央の水槽を囲むように六角形に配置されたテーブルを見れば、大人でもワクワクします。今回は「この野菜、浮くかな沈むかな」と「ペーパークロマトグラフィー」の2本立て。後半の色の分解の実験前には、レオ・レオーニの『おおくときいろちゃん』を朗読。子どもたちは不思議そうに、大人たちも意味深な世界に引き込まれていました。

「図書館のホールで、年に3回、親子向けに簡単な実験教室や、実験内容に関連した絵本の朗読をしていました」…高校の面接でこんな風にPRできたら、きっと先生も感心することでしょう。



飛翔 勝瀬

2.28(土) ビブリオバトルに挑戦 ～ふじみ野文化祭で3名が大活躍～

ビブリオバトルは、「いい本に出会いたい」という思いから生まれた、面白いと思った本を紹介しあい、観客に「読みたくなった本」を投票してもらう発表会で、バトルと名がついてはいるものの、ディベートのような攻撃性はなく、**多様性を受け入れ、互いに相手の良いところを認めて成長しあう取組**です。

小学校の授業でも取り入れられているようで、たまたま「一票差で負けたことがある」という生徒に出会い、参加してもらうことができました。



キミの一步が誰かを笑顔に



見事チャンプ本に



票の回収・集計でも活躍

もう一人は初挑戦とのことでしたが、「大丈夫です。YouTubeで見たり、AIに聞いてみます!」とのこと。恐るおそる研究室の扉をたたき、図書館で調べていた昭和世代からすると、令和の学びはまさに「隔世の感」があります。

なお、例年出演していた演劇部は、12月の校内発表会以後、3年生を送る会の準備に専念するため、今年は見送らせていただきました。

- 予今 ①3.14 中学生ベルマークボランティア@市民福祉活動センター(パレット) 11~12時 他中生と一緒に活動
後 ②4.19 富士見市子どもフェスティバル@文化の杜 9時~16時 ▶ 4.11(土) 結団式(実行委員会立上げ)
定の ③5.10 ふじみ野MACHifes(まちフェス)@勝瀬原公園 9時~16時 ▶ 4.18説明会 13時~交流センター